

記時歲諧俳

春

# 俳諧歲時記

## 春

一吉哉  
新郎太  
富野尾木本  
信祐信  
國武山寺牧

高濱虚子  
藤井乙男

改造社

例　言

一、本書は「俳諧歳時記」春之部とす。

二、春之部に採用せる季題の選定并びに排列の順序は、専ら解説擔任者の意見に依りたるも、古書校註の部にのみ存する古季題は、編輯部に於て適宜に挿入せり。

一、春之部收藏季題の範囲を、他季との區別上便宜示せば、立春より立夏の前日迄の期間より、陽曆一月及び陰曆一月に屬する季題の大部は、新年之部に入るべきものとして之を控除し、陽曆二月・三月・四月、陰曆二月・三月を配したるものを探用せり。但し、陰曆一月の季題にして、今日主として陽曆にて二月に行はれ居るものは、新年と特に關係なき限り春之部に編入せられたり。

一、春之部の季題中、新年之部又は夏之部に重出せるもの數ヶ所あるも、これは便宜のため兩者に入れたるものにして、地方により陽曆及び陰曆を採用せるもの半ばする季題なり。季の判定は兩者を對照すれば判明する様に心掛けたり。

一、本書收藏の例句は、句作并びに鑑賞上の便を考慮し、名句集を兼ねしむるため、從來の例を謹かに凌ぐ句數の選擇を乞ひて収容せり。排列は擔任者の意向による。

一、挿畫は鶴嶺部達に高瀬氏<sup>シテ</sup>選定せられたるもの加ふ。尙、牧野・寺尾兩博士の好意を得だり。

一、本書の執筆分擔は左の如し。

季　題　解　說

實　作　注　意

古　書　校　註

時　候　天　文　事　考

參

動

植

物

牧

寺

山

本

新

郎

野

富

太

郎

國

富

信

一

武

田

祐

吉

藤

井

乙

男

高

濱

盧

子

初め改造社から俳諺歳時記の春之部・冬之部の二冊を編輯することの相談を受けた時に、私は多忙でもあるし其任に非ずと云つて辭退した。けれどもたつてとの事であつたので、富安風生・山口青邨兩君の助力を俟つて、ことによつて遂に承諾することになつた。兩君もそれより多忙な境涯に居られるに不拘、計畫・總攬・校訂・整理・選句等のことにして私の勞をして極めて妙からしめたことを深謝する。其他ホトトギス同人諸君を初めとして、幾多の人々の解説の労を分擔せられた事を深謝する。又、井手原太郎君が事務・筆寫等の一切の煩勞を執られた事を深謝する。

尙、春之部の解説に當られた諸君は概ね左の如くである。

大東東神麗堺朝滿丹大新京松新東京九  
阪京京戸岐鮮淵波坂鴻都山鴻京都  
森麻赤五村山清江西血濱鈴酒中松池杉  
川田星十尾本原川山井口日鹿井藤尾田  
曉椎水嵐公梅柳三泊旭今野黙みづ夏  
水花居水羽史童昧雲川夜呂禪ほ山し女  
君君君君君君君君君君君君君君君君君君

この他、二三項宛不明なものを依頼したもの、或は報告されたうちから採用したもの等は甚だ多數であつたため、芳名は省略する。

其他、新題の報告・舊題の参考・日々の自然現象の報告・希望・訂正など、各地から熱心に送つて貰つたものは夥しい数に上つた。これ亦一々芳名は記載しない。これらの取扱は全體との調和を考慮して決定した。

尙、「山茶花」からは新題二三を採録する便宜を得た事を附加し、茲に深謝する次第である。

昭和八年十月

高濱虛子

## 凡例

一、當方で解説を附した季題は總數七七八項、これを時候・天文・地理・人事・宗教・動物・植物の七部門に分類し、この配列の順序は所信に従つて決定した。新題・舊題の整理も出来るだけ行つた。

一、季題解説は凡て事實を根底とし、一應全國の同人に依頼し、集つたものを再訂三訂し、更に不明なものは何回でも問合せた。地方的なもの、専門的なものは凡てその地方の人、専門の人の言を徵し、若くは實地踏査した。この爲め古題は稍々面目を新たにしたかと思ふ。

一、新題は北海道・樺太・鮮朝・滿洲・臺灣に亘つて、洽く檄を飛ばして蒐集し、嚴選した。其他、各地から夥しい報告を取捨し、現行歲時記を涉獵し、新題で收録すべきものは、一々各作家に解説を求めた。

一、例句は總數一萬餘句、うち左の三十六家、約五千七百句は改造社より必ず加ふべき句として指定されたものであつて、當方の權限外である。

宗因	芭蕉	鬼貫	言水	素堂	來山	浪化	丈草	去來	其角
嵐雪	許六	惟然	北枝	支考	杉風	沾德	桃隣	千代	燕村
太祇	召波	樗良	也有	蓼太	几菴	白雄	曉臺	關更	士朗
巢兆	成美	一茶	乙二	蒼虬	梅室				

但しこれら古句は一句々々定本によつて校合した。

其他の例句は當方で選録した。其等の出典は一々明にした。

尙、出典は概ね原書名通り明記したが、左の五書は長いため下の如く略記した。

同人俳句集は 同

體葵第一句集は 懸 葵

ホトトギス雜詠全集は ホトトギス

續ホトトギス雜詠全集は 繼ホトトギス

同全集以後は ホトトギス誌

## 凡例

一、古書校註として引用した書は、夏之部・秋之部・冬之部と略と同様であるが、比較的滑稽雑談を採用したところが多い。これは年浪草・葉草など同書の孫引が多いからである。

一、これらの引用書は、凡て原本に據つたが、滑稽雑談のみは、帝國圖書館本の寫本を本として、國書刊行會の刊本を参考照合した。

一、引用文は、紙數に制限あるため、特に必要でない個所は省略した。その場合、中略したものは、(略)と記したが、上略・下略の分は、繁瑣を厭うて、ことわることをしなかつた。

一、引用文は、通讀の便の爲め、送假名の不足を補ひ、濁點を施し、漢字・假名の誤を正し、又間々假名を漢字にかへもし、漢文は總べて假名交り文に書き下したが、原文には少しの變更もない。

一、註は、夏・秋・冬の三冊と同じ標準で、同じ程度に施したつもりである。

一、校正は、遠隔の地にあるため、自ら之に當ることが出來なかつたので、在京の宇田久君に委嘱した。

昭和八年十一月

廣島客寓中

藤井乙男識

# 部類目次

時	候
天	文
地	理
人	事
宗	教
動	物
植	物
物	四三
物	三七
教	二五
事	一元
理	一〇三
文	九
候	一

目次

時  
候

暖春被春春晚四仲彌三き二舊比  
和の  
まざめさら正返寒淺の  
日閉かかれて岸社分春月春生月ぎ月月月るるし寒し春春明節春

卷之二十一

天文

春  
日  
天  
文

1948年，中国科学院植物研究所的王文采、胡承志、吴征镒等学者在对秦岭植物进行考察时，在太白山发现了此物种。

新編

氣

樓 景

出水野原川むら波瀬湖池田代泥堤解るる雲天間間雲解巖山

地理

100

雪苦入卒大雁寒繪針阿花出二御二一御列觀地天紀春屋北春炬釣爐  
力來試風供蘭陀朝日事禮正久長元掃櫻御根緋焰窓的綠摘火燈  
割る學業驗呂食踏糞渡節代炎納者月燈見宴節節除烽烽々々烽塞

氷流るる

人  
事

四八一四七一四大一四六一四五一四四一四三一四二一四一

三六

花花花花花花花花花花櫻花梅摘野路沙鷺曲柳雜雛油鑄雛雜上桃磯磯芝烟奈良山  
盜のの のの 水の流の花 の菜遊聞燒

序号	名称	功能	主要参数	应用领域
1	智能语音助手	语音识别与合成	支持多语种，准确率95%以上	智能家居、车载系统
2	面部识别摄像头	人脸识别	识别速度0.1秒，误识率0.01%	安防监控、门禁系统
3	AI图像识别引擎	物体识别	识别精度98%，覆盖常见物体类别	零售业、自动驾驶
4	自然语言处理模块	文本理解	支持多模态输入，准确理解用户意图	客服机器人、智能客服
5	深度学习加速器	模型推理	高性能计算，每秒处理数万张图片	大数据分析、推荐系统
6	边缘计算单元	本地决策	低延迟，本地数据处理能力	工业物联网、自动驾驶
7	传感器融合算法	环境感知	综合多源数据，提高感知准确性	自动驾驶、无人机导航
8	自主学习系统	自我优化	持续学习新知识，提升整体性能	医疗诊断、个性化推荐
9	网络安全防护	安全防御	抵御恶意攻击，保障数据安全	金融行业、政府机构
10	物理世界交互模块	执行控制	将数字指令转化为物理动作	机器人、智能制造

磯木八銃霜鳴上鮎春馬蜆硯茶製茶桑桑春蠶蠶厩羊海若慈草菊菊揮取接  
漸獵く鳥り鮎蛤石の挽卵出毛剪苔刈掘根植うる根植うる根植うる  
流の停す鹿取葉葉の毛剪苔刈掘根植うる根植うる根植うる根植うる  
隨し狩止べ狩築波釣突取る選茶摘賣摘絲紙伺しるるる分木木木  
麻蒔うる莖植うる莖植うる莖植うる莖植うる莖植うる莖植うる莖植うる

从1998年到2002年，中国GDP年均增长率为8.5%，而同期美国GDP年均增长率为3.1%。因此，中国GDP总量在2002年超越美国，成为世界第二大经济体。

蕨格菱櫻草鶯切山治桃白枸聞蟹壺洲蜆田目鮒胡青木蕗木木櫻木木數干目白蒸山花魴初團扇作  
山椒葉の杞豆螺摩葱芽味芽田味芽製子萎菜挿  
餅餅餅餅餅皮酒酒酒茶茶腐燒蛤汁和臘臘臘饅樂噏噏和漬漬刺千鰈漬漬す筈

宗教

部门	岗位	姓名	性别	年龄	入职时间	工号
销售部	销售代表	张伟	男	28	2018-07-01	001
销售部	销售代表	李华	女	26	2019-03-01	002
销售部	销售代表	王芳	女	25	2018-09-01	003
销售部	销售代表	赵雷	男	27	2018-12-01	004
销售部	销售代表	陈丽	女	24	2019-01-01	005
销售部	销售代表	孙强	男	29	2018-08-01	006
销售部	销售代表	吴东	男	26	2019-04-01	007
销售部	销售代表	郑丽	女	23	2019-02-01	008
销售部	销售代表	刘洋	男	22	2019-05-01	009
销售部	销售代表	范红	女	21	2019-06-01	010
销售部	销售代表	高飞	男	20	2019-07-01	011
销售部	销售代表	徐丽	女	22	2019-08-01	012
销售部	销售代表	周强	男	21	2019-09-01	013
销售部	销售代表	陈东	男	23	2019-10-01	014
销售部	销售代表	王丽	女	24	2019-11-01	015
销售部	销售代表	李雷	男	25	2019-12-01	016
销售部	销售代表	陈伟	男	26	2020-01-01	017
销售部	销售代表	王芳	女	27	2020-02-01	018
销售部	销售代表	赵雷	男	28	2020-03-01	019
销售部	销售代表	陈丽	女	29	2020-04-01	020
销售部	销售代表	孙强	男	30	2020-05-01	021
销售部	销售代表	吴东	男	31	2020-06-01	022
销售部	销售代表	郑丽	女	32	2020-07-01	023
销售部	销售代表	刘洋	男	33	2020-08-01	024
销售部	销售代表	范红	女	34	2020-09-01	025
销售部	销售代表	高飞	男	35	2020-10-01	026
销售部	销售代表	徐丽	女	36	2020-11-01	027
销售部	销售代表	周强	男	37	2020-12-01	028
销售部	销售代表	陈东	男	38	2021-01-01	029
销售部	销售代表	王丽	女	39	2021-02-01	030
销售部	销售代表	李雷	男	40	2021-03-01	031
销售部	销售代表	陈伟	男	41	2021-04-01	032
销售部	销售代表	王芳	女	42	2021-05-01	033
销售部	销售代表	赵雷	男	43	2021-06-01	034
销售部	销售代表	陈丽	女	44	2021-07-01	035
销售部	销售代表	孙强	男	45	2021-08-01	036
销售部	销售代表	吴东	男	46	2021-09-01	037
销售部	销售代表	郑丽	女	47	2021-10-01	038
销售部	销售代表	刘洋	男	48	2021-11-01	039
销售部	销售代表	范红	女	49	2021-12-01	040
销售部	销售代表	高飞	男	50	2022-01-01	041
销售部	销售代表	徐丽	女	51	2022-02-01	042
销售部	销售代表	周强	男	52	2022-03-01	043
销售部	销售代表	陈东	男	53	2022-04-01	044
销售部	销售代表	王丽	女	54	2022-05-01	045
销售部	销售代表	李雷	男	55	2022-06-01	046
销售部	销售代表	陈伟	男	56	2022-07-01	047
销售部	销售代表	王芳	女	57	2022-08-01	048
销售部	销售代表	赵雷	男	58	2022-09-01	049
销售部	销售代表	陈丽	女	59	2022-10-01	050
销售部	销售代表	孙强	男	60	2022-11-01	051
销售部	销售代表	吴东	男	61	2022-12-01	052
销售部	销售代表	郑丽	女	62	2023-01-01	053
销售部	销售代表	刘洋	男	63	2023-02-01	054
销售部	销售代表	范红	女	64	2023-03-01	055
销售部	销售代表	高飞	男	65	2023-04-01	056
销售部	销售代表	徐丽	女	66	2023-05-01	057
销售部	销售代表	周强	男	67	2023-06-01	058
销售部	销售代表	陈东	男	68	2023-07-01	059
销售部	销售代表	王丽	女	69	2023-08-01	060
销售部	销售代表	李雷	男	70	2023-09-01	061
销售部	销售代表	陈伟	男	71	2023-10-01	062
销售部	销售代表	王芳	女	72	2023-11-01	063
销售部	销售代表	赵雷	男	73	2023-12-01	064
销售部	销售代表	陈丽	女	74	2024-01-01	065
销售部	销售代表	孙强	男	75	2024-02-01	066
销售部	销售代表	吴东	男	76	2024-03-01	067
销售部	销售代表	郑丽	女	77	2024-04-01	068
销售部	销售代表	刘洋	男	78	2024-05-01	069
销售部	销售代表	范红	女	79	2024-06-01	070
销售部	销售代表	高飞	男	80	2024-07-01	071
销售部	销售代表	徐丽	女	81	2024-08-01	072
销售部	销售代表	周强	男	82	2024-09-01	073
销售部	销售代表	陈东	男	83	2024-10-01	074
销售部	销售代表	王丽	女	84	2024-11-01	075
销售部	销售代表	李雷	男	85	2024-12-01	076
销售部	销售代表	陈伟	男	86	2025-01-01	077
销售部	销售代表	王芳	女	87	2025-02-01	078
销售部	销售代表	赵雷	男	88	2025-03-01	079
销售部	销售代表	陈丽	女	89	2025-04-01	080
销售部	销售代表	孙强	男	90	2025-05-01	081
销售部	销售代表	吴东	男	91	2025-06-01	082
销售部	销售代表	郑丽	女	92	2025-07-01	083
销售部	销售代表	刘洋	男	93	2025-08-01	084
销售部	销售代表	范红	女	94	2025-09-01	085
销售部	销售代表	高飞	男	95	2025-10-01	086
销售部	销售代表	徐丽	女	96	2025-11-01	087
销售部	销售代表	周强	男	97	2025-12-01	088
销售部	销售代表	陈东	男	98	2026-01-01	089
销售部	销售代表	王丽	女	99	2026-02-01	090
销售部	销售代表	李雷	男	100	2026-03-01	091

御身拭道明寺祭遣教經會經供養比良八講祇園御八講吉祥院八講東福寺儀法季御讀經祇園一切經會勸學會入摩峯耶詣鞍馬の花供養品川寺鐘供養嵯峨の柱炬藥師寺造華會薬師寺最勝會磐若寺文殊會六阿彌陀詣池上千部通お札流し染織祭湯祈禱河豚供養義士祭猿の口開巳の日の祓須磨の御祓釋春の關帝祭媽祖祭

卷之三十一

在這段時間，我會將我的注意力放在學習上，並努力提高自己的知識水準。我會定期閱讀相關的書籍和文章，並參與一些線上線下的學習活動。我還會尋找一些志同道合的朋友，一起交流學習心得，共同進步。

雀孕鳥孕鳥鳴貌百花岩燕鶯松合麥雲營赤駒呼雉鳥小棹猫  
引田鼠化して鳩と爲る  
鷹化して鳩と爲る  
の巣の交千雀立鳥るり鳥鳥鳥燕  
ののの交鹿の角落つ姫の子屋  
鳥生鶲雀髮鳥鳥際鶲鷺子戀鹿仔駒む

年	月	日	天候	風向	風速	氣溫	露點	氣壓	降水量	積雪	水位	水深
西	01	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	02	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	03	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	04	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	05	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	06	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	07	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	08	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	09	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	10	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	11	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	12	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	13	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	14	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	15	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	16	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	17	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	18	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	19	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	20	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	21	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	22	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	23	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	24	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	25	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	26	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	27	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	28	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	29	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	30	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0
西	31	西	晴	北	0	-10	-12	1012	0	0	0	0

田螺 鳴鳥 櫻細子 烏馬貽馬常簾帆板赤海淺蛤菜寄飯花螯魚小初柳櫻  
安珂 立屋一松 居烏鳥 氷に上る魚を祭る鮓鮒鮑鰐  
蝶穴を出づ 蝶穴を出づ 蝶穴を出づ 蝶穴を出づ 蝶穴を出づ 蝶穴を出づ  
蝶花蝶に化す 螺

山竹春葛葉令五桑柳芽枸楓山若芽木藤  
のの若の若の若の若の若の若の若の若の若  
鶯吹秋筍葉葉法加柳杞芽芽芽綠ち芽  
山歸來の花花花花蘭花花花花花花花花花  
都子の花花花花蘭花花花花花花花花花  
通草の花花花花蘭花花花花花花花花花  
黃木蛾母檳榔子花花花花花花花花花花  
紫蠅樹心舞の花花花花花花花花花花花  
本桃樹蘭花花花花花花花花花花花花花  
小花檳榔子花花花花花花花花花花花花  
山鈴懸の花花花花花花花花花花花花  
小粉團の花花花花花花花花花花花花

掘野三三芥莖み水鶯波水萬嫁牡鱗蓬春落金  
 入大月づ 稗苦 のの鳳ザー  
 根根根菜菜立な菜菜草賣芭菜蓬 落莖花スビ  
 芽いね 慈栗母忘 すくの  
 フリーネモラシクライジモラ  
 ヒニアシラメリジアネヤ  
 オキザーリトスンツアネヤ  
 フィアシラメリジアネヤ  
 シヌークライジモラ  
 山片貝勿金金東雛華  
 森母忘 すくの  
 小蠻

目次

臺 売

て烏慈山三芥嵯末杉菊菊櫻若古駒雀春若草も草下鶯蕨虎酸茗種青防胡野蒜並春石獨  
 い葉黒の栗の返がのののの荷刀  
 れの若若るくる若の  
 ぎ芋姑葵芹草芒菜苗葉芝草草れ草草葉芽茅萌芽 枝模竹芋麥風葱蒜 菊柏活

空 空

青白海鷄黑海若海鹿水鶯若芽荻角蘆蘆へ田茆水尊恵  
 海 冠海 尾芭 張の組ののの芥ひ生  
 苔藻髮菜苔苔布雲菜蕉苔菰つ葉荻葉角ご子むる菜具  
 み

空 空

# 時 候

春

青陽 青春

芳春 陽春 蒼帝

獻節 三春 九春

古書校註

【御參】春と春、五句去也。問云、諺譜は和漢(一)のことく去姫ふと云ひしに、何とて同季を七句は姫ひ給はぬぞや。答云、是私にあらず。玄旨法印(二)・紹巴法橋(三)などの諺譜に、季を五句去になされしを聞きならひて昔より仕るに、近年宗祇(月)の獨吟の講説を見侍れば、皆五句去にして有るなり。先師たちのせられしも、定めて此故にてありつるやと、いよ／＼殊勝に思はれ侍る。

【滑稽雜談】前漢書律曆志に曰、春は陽と爲す。萬物始て生る也。又曰、少陽は東方、東は動也。陽氣物動く時に春と爲す。又曰、春は姦也。物姦生して乃ち運動す。○公羊傳曰、春とは何ぞ。年の始也。註軒、春は天地開闢の端、姦生の首也。○和訓義解に云、春をはると訓ずるは、晴るゝといふ義也。冬は陰氣あつく、雪降り雨しげく、晴るゝ事稀也。陽和至りて空うらゝかに、日もいろ輝きて晴るゝ也。又木の芽はると云ふこゝろもあれど、前の説よろし。又發始の略語とも云ふ。

【年浪草】日本釋名(五)に云、一説、はるはある也。冬はよろづなくなりて、春に至りて萬物發生して有となる。又云、張也。草木のめばるなり。初説を用ゆべしと。

■ ○滑稽雜談・年浪草等には春の異名として、太皞・勾芒・蒼天・東君・青陽・韶光・蒼帝・青春・芳春・獻節・青帝・歲始・發春・青皇等に關する解説が附隨してゐる。(一)和漢は連句の「形式」で、和漢句に漢句を附けるもの。秦草の「和漢之事」の條には、「次の句」(見えてゐる)、「大かた俳諺の法を守るべし。和漢ともに五句を以て限りとする。但し通じては、第一句より六句に及ぶべき事。(略) 和漢には題句を漢にすべし。」等記されてゐる。(二)細川藏考、難解して文旨・商議と誤り、歌謡を以て闇解した貞徳の歌道の師。慶長十五年歿。年七十七。(三)里村紹日、本姓は松谷氏。達摩をよくし、秀吉の師となつた。慶長五年歿。(四)鏡屋景風。釋玉庵、自然然等の別號がある。明治四年勅製設樂を撰して歌道を大成した。文政二年歿。年八十。(五)貝原益軒の著。

【季題解訳】俳句はあらゆるものに春・夏・秋・冬を認める。殊に春は四季の中でも視野が廣い。春の街・春の庭・春の宿・春の船・春の寺・春の店・春の土・春の驛等、在來の句に現はれてゐるものを數へても際限がなく、今後に詠はれるところのものに至つては到底想像の限りではない。これを身邊の人事に見るも、人の春・妻の春・妹の春・母の春・父の春・春の机・春の鏡・春の化粧等目に觸るるもの悪く春ならざるはなく、更に主觀的にも、春悲し・春惆まし・春樂し・淋しき春・愛しき春等、複雑多岐を極め

てゐる。二月の立春から五月の立夏迄を春と云ふ。三春は初春・仲春・晩春の總稱であり、九春は春季九十日間の總稱である。

貴作注意

太陰曆においては、大體新年は即ち新春であつた。従つて春といふ言葉が、新年と同義にも用ひられた。太陽曆の今日となつても、新年の意義の春といふ言葉がそんなに多くはないがまだ残つてゐる。たゞへば御代の春とか、國の春とか、庵の春とか、老の春とか、春暮とかいふが如きである。これを本項に述べた「春の庭」などといふ場合の「春」とは違ふことを注意しなければならぬ。

醫隱 天文・佐保姬

新年—初春

例句

四日市いつかかへらむ旅の春

富士は雪三里裾野や春の景

春も早山吹白く苔苦し

松島の松陰にふたり春死ん

浦の松帆に撫られて幾春か

蝶蜂の春をかゝゆる日の下り

なき名きく春や三とせの生別

昔かな初音三井寺夢の春

俗人の門なつかしや春の聲

浦島がたよりの春か鶴の聲

掛に春の蜜柑やうつの山

春の旅おもへ旅たつ友の數

松しまや名にとめられぬ春の旅

うつぼ木の春をあはれむ木魚哉

春うたうた大君が膝の大張子

折釘に鳥帽子かけたり春の宿

船に寐む我に過たる春の興

鬼も箱に納る春の道廣し

春の旅苔ておくるあふぎかな

山寺の春や佛に水仙花

行水や春のこよろの置所

おもしろき名の有がたやわかの春

春の泊飼呼聲や濱のかた

門口に風呂たく春のとまり哉

同

同

同

董

同

同

有良

同

同

村

同

同

其

同

同

角

(去來發句集)

同

來山

(稚いま宮傳)

同

浪化

(浪化上人發句集)

同

其堂

(俳諧五子稿)

同

宗

(其堂別號句集)

同

許支

(五元井發句集)

同

六考

(五元集)

同

董

(董良集)

同